



平成 24 年 2 月 1 日

各 位

会社名 日立電線株式会社
代表者名 執行役社長 高橋 秀明
(コード番号 5812 東証・大証 1 部)
問合せ先 ビジネスサポート本部
人事総務部門総務部長
木暮 正一
(TEL. 03-6381-1050)
当社の親会社 株式会社日立製作所
代表者名 執行役社長 中西 宏明
(コード番号 6501 東証 1 部ほか)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 24 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間に下記の特別損失を計上することを決議いたしました。

また、平成 23 年 10 月 28 日公表の「特別損失の計上及び第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異、並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」において開示した、平成 24 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正しますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社グループでは、中期経営計画「リニューアル・プラン“BRIDGE”」に基づく経営基盤の強化と事業構造改革を進めています。この施策実行に伴い、当第 3 四半期連結会計期間において事業構造改善費用及び減損損失を特別損失に計上しました。それぞれの金額と主な内容は下記のとおりです。

(1) 事業構造改善費用 57 億 28 百万円 (連結)

早期退職・転職支援制度の実行に伴い発生する早期退職費用ほかを計上するものです。

(2) 減損損失 28 億 29 百万円 (連結)

国内銅管事業からの撤退に伴い関連する製造設備等を減損するほか、社内 IT システムの構築計画を見直し関連資産等の減損損失を計上するものです。

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) ※1,※2

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 23 年 10 月 28 日発表)	440,000	5,000	4,000	△22,000	△60.33
今回修正予想(B)	422,000	1,500	500	△25,000	△68.59
増減額(B)－(A)	△18,000	△3,500	△3,500	△3,000	
増減率(%)	△4.1	△70.0	△87.5	—	
(ご参考) 前期実績 平成 23 年 3 月期	419,279	788	△ 1,765	△ 12,993	△ 35.65

※1 金額の単位は、「売上高」「営業利益」「経常利益」「当期純利益」は百万円、「1 株当たり当期純利益」は円で表示しております。

※2 平成 24 年 3 月期は海外連結子会社における決算期変更の過渡期であるため、平成 24 年 3 月期連結業績予想には、12 月決算子会社 26 社の 15 ヶ月分の業績予想 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) 及び、1 月決算子会社 1 社の 14 ヶ月分の業績予想 (平成 23 年 2 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) を織り込んでいます。

(2) 修正の理由

当社グループの業績は、当第3四半期連結累計期間までは、概ね前回予想値発表時の見通しどおりとなりました。

しかしながら、現在の当社の経営環境は、半導体・エレクトロニクス市場の低迷が前回見通し以上に深く長期化していることにより、関連製品の売上減少が続いています。また、社会インフラ分野の製品も、海外需要の一時的停滞や、国内の復興需要の立ち上がりは前回見通しよりも後ろ倒しになっていること等により、前回予想を下回る見通しです。

このような状況を踏まえ、当社グループは平成23年10月28日に公表した平成24年3月期の通期業績予想を売上高、利益とも、引き下げることにいたしました。

当社グループでは、中期経営計画に基づく事業の選択と集中、事業構造改革による固定費の削減、製品競争力の強化等を確実に実行することはもとより、さらなるコスト削減を推進し、業績の回復に全力を挙げてまいります。

(注) 上記予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

以 上